

Let's chants!

～ Hi, friends2 Lesson 4 ～

高学年複式 6月～7月 18Q (6時間)
 附属新潟小学校 教諭 茂木 智弘

1 目指す姿

○ 活動内容を改善し、英語を用いてコミュニケーションを図りながら、理解し合う子ども

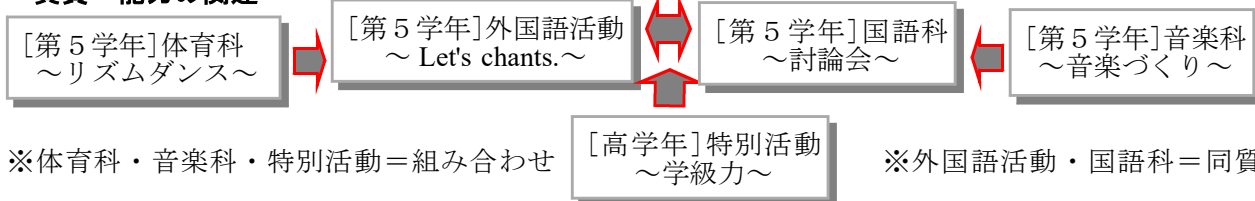
※ 理解し合うとは、単元の目標が伝えることであれば、自分の伝えたいことが伝わった姿であり、相手のことを知る、聞く単元であれば、聞きたいことを聞いた姿である。

Ori チャンを改善して、動きにかかわる英語や人に何かを教えるための英語を用いて Ori チャンを ALT に教えることができる。

2 育む資質・能力

	①個別の知識や技能	②ツール活用能力	③見方や考え方	④態度
外国語活動	○馴染みのある定型表現で聞いたり、話したりする(発音を含む) ○会話に必要な言語材料やコミュニケーション手段を使う力	○思考ツールを用いて目的と手段を結びつける ○思考ツールを用いて英語とコミュニケーション能力を結びつける	○相手の意図や気持ちを考えながら定型表現でやりとりする ○場面や状況に応じて定型表現でやりとりする	○外国語を用いて、コミュニケーションを楽しむ態度 ○外国語を学ぶ楽しさや大切さを人々と関わり合う態度
国語			○場面や状況、相手の意図や気持ちを考えながら聞いたり、話したりする	
体育			○目的に応じて表現を工夫する	
特別活動			○目的を達成するための方法や役割を共通に理解し、協力する	
音楽			○リズムと音(言葉)を合わせる工夫をする	

3 資質・能力の関連



4 単元の計画

	【学習活動】 ☆資質・能力	【働き掛け】	Q
一 次	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道案内に必要な定型表現 [Turn] などに気付く。 <ul style="list-style-type: none"> ・道を案内しているんだよ。 ・Go /Turn/Right/Left を使っている。 ○ 定型表現 [Turn] などを見い出す。 <ul style="list-style-type: none"> ・Go /Turn/Right/Left は、絶対必要。 ○ 定型表現 [Turn] などを動きと共に発話する。A=ALT C = Children A:Go straght. C:Go straght. A:Turn right. C:Turn right. (動きに合わせて発話) ○ ペアになり、片方を目隠しをして、教室を歩く。 C 1 = Go straght. C 2 =怖いよ! 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ALT と HRT とのデモンストレーションからどんな会話をしているのか考えさせる。 ◆ 道案内に必要な英語は何か問う。 ◆ チャンツで定型表現に慣れ親しませる。 ◆ ペアになり、ブラインドゲームで道案内をさせる。 	5 Q 1 時間 + 15 分 × 2
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既存の経験や体育の授業からチャンツになりそうな動きを想起する。 <ul style="list-style-type: none"> ・前、後ろってこの間体育でやった「言うこと一緒」のは? ・Right や Left も使うね。いいかも。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 習った英語でALTに何か伝えようと呼びかける。 	

- 必要な言語材料を確認する。
 - ・ Right や Left, Back...
 - ・ 前って Front かな。いや Forward だ。
- チャンツを練習し、伝えるための英語を考える。
 - ・ Look! とかで見本を見せる。
 - ・ Repeat after me. は使えるかな。
- ALT に教える。
 - ・ あれ？伝わっていない。
- 改善策を考えさせる。
 - ・ リズムと言葉を確認しよう。
 - ・ 協力して伝えよう。
 - ・ 動きを変えてみよう。

Ori チャンをつくって、ショーン先生と一緒にやろう！

- Ori チャン2を考え、教え方を考える。
 - ・ Spin とかできそう。
 - ・ しゃがむは？
- 活動から問いをもつ。

○ 基本形「言うこと一緒」は、教えられたけど、Spinが上手くリズムに合わなくて教えられていない。

- 課題と解決策を考える。

○ リズムに合っていないということは、英語が長い、言い方が悪い。例えば2つの言葉をつなげて早くいって見たらどうかな。 など

- 自分たちの問題点について各教科の資質・能力③を發揮しながら改善し、次への準備をする。

**○ リズムボックスを使って、最初は少しテンポ遅めで教えていこう。
☆資質・能力 音楽科③**

**○ 困った時は気付いた人が直ぐにショーン先生に話しかける約束にしよう。
☆資質・能力 特別活動③**

**○ 『Oriチャン』の動きを簡単に楽しくできるようにしよう。
☆資質・能力 体育科③**

- 改善策を基にショーン先生に『Oriチャン』を教える。

○ A=ALT C=Child
C: Let's play dancing game!
A: OK!
C: (指を指して) 1st, look at us. The next(2nd)...
C: Look! Look! (動きを見せながら)
A: Oh, I see.
C: Do you understand?
A: Yes. I undersatnd.
C: OK! Let's play.
A: OK!

- 活動結果とその要因を自覚する。

○ 伝えられた。ぼくたちは、始めリズムが合わなかった。だから、リズムボックスを使って英語とリズムが合うように最初テンポを遅くしながら伝えたからだと思う。あと、英語の1stとか2ndを使った。そしたら、順序よく説明できて、ショーン先生も分かりやすそうだった。

- ◆ 「言うこと一緒」をチャンツにするには、どうすればいいですか。

- ◆ 班で練習させ、ALT にどのように伝えるのかを考えさせる。

- ◆ ALT に「言うこと一緒」Englishバージョンを伝える。

- ◆ 問題点を確認し、改善させる。

- ◆ 動き発展から Ori チャン2を考えさせる。

- ◆ 教えるための方法や英語を考えさせる。

- ◆ 『Ori チャン』をALTに教えさせ、英語を使って目的が達成できたか問い、その要因を全体で考えさせる。【働きかけ1】

- ◆ コミュニケーションシートを基に、活動内容と伝え方に分けて改善策を考えさせる。【働きかけ2-①】

- ◆ 自分たちの活動を見つめ直させる。【働きかけ2-②】

- ◆ 目的達成のために班で再度活動をさせる。【働きかけ3】

- ◆ コミュニケーションシートを基に、活動結果とその様子についての感想を問う。【働きかけ4】

二次

13 Q
4時間+15分